

～すべての人に捧げる本物の音色～

The Handmade Hermann-Veeh-Harp from Germany

2012年

日本ヘルマンハープ協会認定インストラクター 養成講座の概要

～ 2012年インストラクター養成講座 日程 ～

3月 西宮地区	養成講座 : 3月24日(土) 3月25日(日) 初年度確認研修 : 5月19日(土)	会場: フレンテホール 練習室 (JR西宮駅)
4月 東京地区	養成講座 : 4月21日(土) 4月22日(日) 初年度確認研修 : 6月3日(日)	会場: ムラキビル3階 (東京駅・銀座駅・有楽町駅)
7月 東京地区	養成講座 : 7月7日(土) 7月8日(日) 初年度確認研修 : 9月2日(日)	会場: ムラキビル3階 (東京駅・銀座駅・有楽町駅)
11月 名古屋地区	養成講座 : 11月17日(土) 11月18日(日) 初年度確認研修 : 未定	会場: 未定

2011年4月より、2日間の養成講座と初年度確認研修の1日の内容になりました。

必ず3日ともお受けください。

参加希望の方は別紙の受講申込書に必要事項をご記入の上、ご送付ください。

なお、定員は14名となっております。先着順となっておりますので、お早めにお申し込みください。

目次

- ・日本ヘルマンハーブ協会認定インストラクターとは
- ・インストラクター養成講座費用等
- ・インストラクターの認定と活動の考え方
- ・日本ヘルマンハーブ協会認定インストラクター養成講座 講義内容
- ・「ヘルマンハーブとの出会い」 日本ヘルマンハーブ協会理事長 梶原千沙都

日本ヘルマンハーブ協会認定インストラクターとは

- ヘルマンハーブの持つ理念・歴史を教室で伝えていく義務を遂行できる。
 - 日本ヘルマンハーブ協会に賛同し、その規定を遵守し、報告業務を遅延なく遂行できる。
 - 教室活動を通して、受講生の音楽性の向上とよりよい人生のために貢献することを目的とできる。
 - 音楽経験の有無を超えた教室を運営するため、日本ヘルマンハーブ協会のバリアフリー教授法(ダカーポ唱法や奏法)に基づく講義を行うことができる。
 - 音楽経験が豊かで、音楽の基本知識を習得している。
 - 演奏力に一定の資質が認められる。
 - ヘルマンハーブ教室運営を実際に行う。
 - インストラクター登録時点での年齢が 60 歳未満である。
 - 連絡事項はEメールに文章を添付して送信いたしますので、PCで添付データがとれる環境を有している。
- * 養成講座修了者は、ヘルマン・ハーブ・ジャパン有限会社と認定インストラクター契約を締結し、同時に日本ヘルマンハーブ協会に入会していただきます。初回の更新期間は 2 年です。2 回目以降は 5 年毎に行います。
- * ヘルマンハーブの教授活動、ヘルマンハーブ教室運営は「日本ヘルマンハーブ協会認定インストラクター」のみに限られております。認定資格をお持ちでない方はヘルマンハーブの教室を運営することはできません。

インストラクター養成講座受講料等

受講料： 80,000 円（ハーブ購入費、並びに教材費は含みません）
（当日、ハーブをレンタル希望の方には 1 日 ￥1,050（税込）にて貸出し致しますので事務局までご連絡下さい。ただし遠方からお越しの方から優先になりますので、なるべくご自分のハーブをご持参ください。）

受講必要教材： 楽譜 ドイツコレクションⅠ 左記 2 冊の養成講座でのご購入につきましては 15%の
楽譜 日本コレクションⅠ 特別割引を適用いたします。

《指導者用教材》

基礎教材 ダ・カーポ ￥9,800-

インストラクター用教材 ￥3,000-

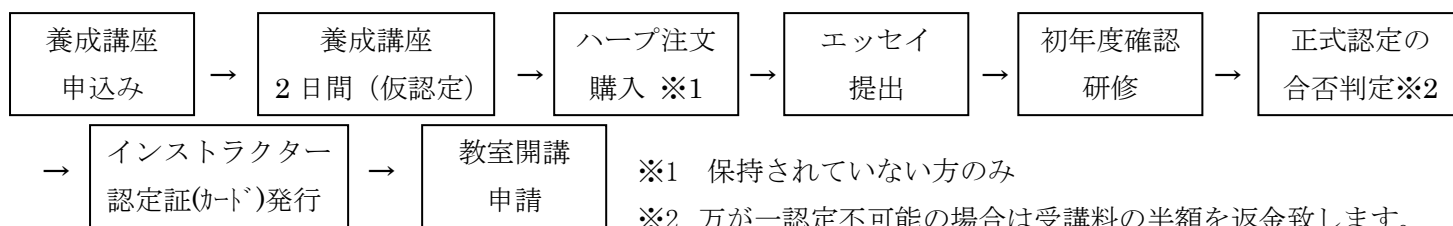
提出物

履歴書 : 志願書に記載

資格証明書 : 最終学歴卒業証明書、音楽療法士、その他資格などのコピー

インストラクターの認定と活動の考え方

①インストラクター認定の流れ



エッセイ提出について：養成講座の最終日を含め6日以内に、与えられたテーマでエッセイを提出する。

合否判定について：考え方も含めて、日本ヘルマンハープ協会の認定インストラクターにふさわしい技量をもっているかどうかを審査します。

②認定後の諸費用について

インストラクター入会金 : 3,000円

認定証(カード)発行 : 6,000円

教室看板 : 40,000円 認定時特別割引価格 (通常46,000円)

インストラクター年会費 : 基本7,000円に加え、教室在校生1人当たり1,800円(ロイヤリティとして)を年会費とする。

③インストラクター活動について

報告内容 : 月次報告、年次報告(2月末提出時にロイヤリティのベースとなる在籍生徒数を報告)

イベント申請 : 日本ヘルマンハープ協会が活動把握するため、出演イベントの申請を行う。

広報活動 : 日本ヘルマンハープ協会の専管事項であるので、地元の取材依頼は協会との事前連携が条件

ハーピスト会員 : 教室受講生は日本ヘルマンハープ協会のハーピスト会員登録を前提とする。

教室開校申請 : 認定後、速やかに自宅等での教室開講申請を進める。

教室受講 : 認定後は、認定インストラクターのもとで教授を受けることはできない。

インストラクター認定に際してのハープ購入条件

: 未購入者は、認定後最低1台のハープを保有していることが開講の条件です。

(ただし、ハープはヘルマン・フェー・ハープ・ジャパン(有)から購入したものであること。)

④インストラクター特典

販売の取次ぎ手数料 : インストラクター紹介でのハープ販売に対して、6%の取次ぎ手数料が支給される。

商品価格割引 : 2台目以降のハープ購入に10%、楽譜は15%、その他付属品は10%それぞれ割引を適用する。

ホームページ上の教室検索での案内

全会員及び受講希望者配布用の教室一覧掲載

会報誌(年4回発行)での教室、演奏活動のご紹介

協会依頼の演奏会への出演募集の案内 (新聞・放送局依頼に加え、各種法人からの要請あり)

⑤更新について

原則年1回開かれるインストラクター研修会(半日程度)に参加することが更新の条件となっています。

※研修会は、東京及び兵庫で開催されます。

日本ヘルマンハーブ協会認定インストラクター
養成講座（2日間）初年度確認研修（1日） 講義内容

インストラクター養成講座（2日間）

・ヘルマン・フェー・ハーブ・ジャパン有限会社（日本ヘルマンハーブ協会の母体）の事業方針の説明

・インストラクター契約について

- ・認定更新規程
- ・普及運営規程
- ・取次サポート規程

・ヘルマンハーブの教授法

- ・チューニング指導
- ・楽譜集ドイツコレクション I 解説（前半）
- ・楽譜作成方法解説
- ・ヘルマンハーブ入門コースプログラム解説
- ・楽譜集日本コレクション I 解説（前半）

・ヘルマンハーブの奏法

・商品について

- ・ヘルマンハーブの商品知識、取扱説明
- ・付属品について

・ドイツ文化について

- ・カフェトリンケン（ドイツのお茶会）を通じてみるドイツ文化
「ヘルマンハーブ教室のサロンの教室スタイルを探る」

初年度確認研修（1日）

- ・楽譜集ドイツコレクション I 解説（後半）
- ・楽譜集日本コレクション I 解説（後半）
- ・確認テスト（奏法、ダカーポ唱法）

* 内容は一部変更される場合がございます。

* 詳細はお問合せください。

日本ヘルマンハーブ協会理事長 梶原千沙都 紹介

ウィーン滞在中の2003年にヘルマン・フェー社創業者一族と出会い、日本人としてただ一人同社より信任を得て日本における普及を一任される。2004年8月より普及活動を開始。2005年日本ヘルマンハーブ協会を設立し、日本における全面的な普及につとめる。

「ヘルマンハーブとの出会い」

日本ヘルマンハーブ協会
理事長 梶原千沙都

ヘルマンハーブはドイツ・バイエルンの農場主、ヘルマン・フェー氏が1987年に考案したハーブです。フェー氏の4番目の子供であるアンドレアスさんは、重いダウン症という染色体異常の病気を背負ってこの世に生まれました。フェー氏は、このアンドレアスさんに何とか楽器を弾かせてやりたいと、ドイツ中、アンドレアスさんが弾ける楽器を探し求めました。元来、楽器の中でも弦楽器は非常に癒し効果が高いといわれています。フェー氏はその弦楽器の中で息子が弾けるものをと、ヨーロッパの古楽器を中心に探し続け、数々の楽器を購入しましたが、アンドレアスさんが弾ける楽器は見つかりませんでした。その間、フェー氏は改良をすればアンドレアスさんが弾ける楽器を作り出せるという確信を持つに至り、専門家のアドバイスを得ながら遂に“アンドレアスのための楽器”製作に乗り出したのです。ここに至るまで、フェー氏は10年間ほど新たな楽器制作のコンセプトをあたため続けたといえます。その間、アンドレアスさんに試作品を弾かせてみては改良を重ねるといふ果てし無い作業が繰り返され、納得いくハーブが完成したのは、1987年のことでした。

その後、アンドレアスさんが美しい音色でハーブを奏でる姿を見て、彼と同じ作業所に通う障がい者の親御さんがフェー氏の工房を訪れるようになり、自分の子供にもこの楽器を分けてほしいという要望が出てきました。その数は増え続け、趣味で生産を続けるレベルではなくなりました。これが、事業発足の経緯です。その後、大きな宣伝をすることなく、この楽器はリトミック、音楽療法の楽器としても、スイス・オーストリアそしてヨーロッパ各地へと広がっています。

私が、ヘルマンハーブと出会ったのは、2003年3月です。旅先で訪れたニュルンベルクの福祉介護メッセで小さなスタンドに立つ老婦人にやさしく呼び止められたのが始まりでした。“ちょっと、こちらに来てごらん下さい。きれいなよ。すぐ弾けるのよ”と呼ばれる言葉のままに、私は初めて見るハーブの前に立ちました。ハーブの姿形のやさしさもさながら、爪弾けば胸に染み入るような音色は、忘れがたいものでした。

このハーブとの出会いから約2年間、私の人生で最悪という事態が次々と起こり始めました。癌に侵された舅の介護と死。娘の脳腫瘍との闘病。身内の強度の鬱病。“死”“病”“精神”そんな重い事柄とおのずと正面から向き合わざるを得ない日々が延々と続きました。それらの苦しみは漸くよい方向に向かい始めた2003年10月、夫の日本への帰任が決まりました。脳腫瘍の手術を終えた娘と私は、娘の通学した学校を卒業するまでの半年間ウィーンに残留することになり、私は夫の帰国荷物に入れて日本に持ち帰ろうとヘルマンハーブを買い求めに再度ドイツに向かいました。その際、ヘルマンハーブのクリスマスミサのコンサートを見たことが、その後、ヘルマンハーブの日本での普及導入権を御願ひしてみようという思いを決定づけました。

そのミサは、ヘルマンハーブのアンサンブル、室内オーケストラ、パイプオルガンの三者の共演で進んで行きましたが、ヘルマンハーブのアンサンブルを見ると、知的障がい者・老若男女の健常者が全くバリアフリーの状態で見守られていました。“このハーブを弾いている自分の姿を誰もが素敵だ”と一人ひとりが思い、演奏に参加していることは一目で見取れました。このコンサートでは教会音楽がかわるがわる演奏されましたが、奏でられる音色のやさしさ、美しさ、そして世代を超え、ハンディキャップを超え人を結びつけるその音色の美しさに声を失いました。

と同時に、“障がいを持つ子供を持つ親の心には国境がないのだ。”ということ、そして“その親の思いの大きさ、崇高さ”に深く畏敬の念を感じずにはおられませんでした。凄まじい市場経済の変化の中にありながら、このような素晴らしい楽器がそれに巻き込まれることなく、障がい者を中心とした愛好家の中で20年もの歳月を掛けてじっくりとスイス・オーストリア、さらにヨーロッパ各地に普及していったということは、現代の奇跡のひとつのように思えます。

ヘルマンハーブを世界的に有名にするつもりはなく、そのため、楽器の見本市にも敢えて出展せずにはいたというヘルマンさんご一家が、ご一家にとってまるでご自身の子供のような存在である楽器を私に託されたことを、私は大変重く受け止めています。おそらく、このヘルマンハーブとの出会いの前後に私を襲った人生の試練も“介護・闘病・障害・精神”―その重さを我事として捉えさせていただく為の大きな勉強であり、ヘルマンハーブに携わらせていただくための、ある意味で資格のようなものであったのかもしれない。

“子を思う親の思い”がうみだしたこの素晴らしいヘルマンハーブを、その誕生の歴史とともに、日本の皆様に伝えて行きたいと願っております。

2004年8月

理事長略歴

昭和35年大阪生まれ。奈良女子大学卒業。結婚後、通算10年をドイツ、スイス、オーストリアに滞在する。2003年ヘルマン・フェー氏一族の信任を得て、日本でのヘルマンハーブの普及を一任され、2004年から日本での普及を開始する。2005年日本ヘルマンハーブ協会を設立。ヘルマンハーブ歌手（2010年8月授与）。

ウィーン在住中にヘルマンハーブの音楽研修を終了。ドイツのリズム言葉を用いたヘルマンハーブ独自の教授法を提唱し、これまでに130名以上のインストラクターを育成。障がい者と健常者、年齢差、音楽経験を超えたバリアフリーな教室を全国で展開している。

障がい者と健常者、年齢差、音楽経験を超えたバリアフリーな教室を全国で展開している。

一方、2007年以来、ドイツのシーボルト博物館などでヘルマン・フェー氏らとコンサートを毎年開催し、ヘルマンハーブを通じて日独唱歌の歴史を掘り起こす文化交流を進めている。

2010年8月には、ドイツで指導者向けの奏法セミナーを行い、ヘルマンハーブ独自のメソッドとして大きな評価を得た。ヘルマンハーブ愛好家の呼び声を受けて、日本全国でも奏法セミナーを行っている。

2008年には日本で初めてのヘルマンハーブの曲集、CD「会えるそのときまで」を出版。爾来ヘルマンハーブ奏者としてもさまざまな舞台やTVに出演。著書にドイツ文化に深く切り込んだ「ハルツの森のメルヘン」がある。

2011年4月



HVH J 日本ヘルマンハープ協会

〒662-0084 兵庫県西宮市樋之池町 2 番 33-201 号

TEL 0798-61-9953 FAX 0798-61-9952

e-mail : info@hermannharp.com

<http://www.hermannharp.com/>